

『奇跡の集落』著者 スライド&講演会

「奇跡の集落」のリアル

— 人口減少社会への提案

日時：2月5日（火）
19:00～20:00

会場：農文協・農業書センター

千代田区神田神保町2-15-2 第一富士ビル3F
地下鉄神保町駅（A6出口）より徒歩30秒
CVS サンドラッグ3F 電話 03-6261-4760

講演：多田朋孔（ただ・ともよし）さん

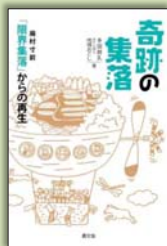
1978年大阪生まれ。第44代京都大学応援団長。京都大学卒業後、コンサルティング会社に勤める。2010年より総務省の地域おこし協力隊（1期）として新潟県十日町市池谷集落に家族で移住。3年間の任期終了後、池谷集落に定住し、米、野菜を生産しながら地域おこしの取り組みを継続中。総務省地域力創造アドバイザー
Forbes JAPAN「ローカル・イノベーター55選」で関東甲信越地区読者投票1位

新潟県十日町市の池谷集落は1960年には37世帯211人が暮らしていたが、高度経済成長のなかで急激に人口が減少、さらに中越地震によって6世帯13名となり、誰もが廃村を覚悟した。しかし、震災ボランティアとの交流などを通じて若い移住者が徐々に増え、11世帯23名まで盛り返し、「限界集落」から脱却した。いまでは「奇跡の集落」「関係人口」のお手本（『ソトコト』編集長指出一正さん）と呼ばれるようになり、全国の過疎自治体の職員や住民の視察が絶えない池谷集落でなぜ「奇跡」がおきたのか、元地域おこし協力隊で池谷集落へ家族で移住した多田朋孔さんがリアルに語る。

入場無料



池谷集落の住民と移住者のみなさん。左端が多田朋孔さん



奇跡の集落—廃村寸前
「限界集落」からの再生

多田朋孔+NPO 地域おこし著
2018年11月 農文協刊
四六判 278頁
定価 本体2,600円+税